

5. ゴルフ同好会の思い出

①現在登録会員が55名です。今までに57回開催し、優勝経験者は38名(2~3回優勝除く)の内8名の優勝者[川端邦夫・志賀英一・太田晋・鎌田満雄・小野寺繁郎・佐々木昭夫・伊藤昭・三浦誠三郎]、また優勝以外で[佐藤進・富岡陸男・地主勝己]がお亡くなりになりました。この11名の方は東京秋工会発展にご尽力していただきました。心からご冥福をお祈りいたします。また優勝経験者が高齢・病気療養中などで、40%弱の方が不参加となっております。次第に高齢化し参加者が減少しており寂しい限りです。皆勤賞の加藤善雄氏(S31MB)がお元気にコンペ懇親会で皆さんを元気づけております。

②印象に残るゴルフは、母校創立90周年記念式典の前日に本部・東海・東京合同ゴルフコンペを榑台ゴルフクラブにおいて開催した時でした。当日は台風が秋田沖を通過し最悪の天候となり、地元の参加者がキャンセル続出しましたが、東京組は全員参加しました。キャンセル続出で組み合わせに苦労しました。しかしさすが金砂健児、ズブ濡れでもホールアウトしました。表彰式はニューグランドホテルにおいて、学校長・東海林会長・キャンセルされた方々も参加され、前夜祭が大いに盛り上がり、記念式典に花を添えられました。

③創立95周年記念式典の翌日に本部・東京合同ゴルフコンペに参加して、(故)佐藤進氏(S32M)が(39+36=75)でベスグロ3位でした。堅く慎重なゴルファーです。茨城CCのメンバーで東京秋工会ゴルフを開催させてもらいました。

④創立100周年記念式典の翌日に本部・東海・東京合同ゴルフコンペに参加して、澤木会長がゴルフを初めて以来の初優勝で大喜びであった(優勝させる策が成功)。この時に本部の辻修次郎氏(S17Y)がグロス80で、エイジシュート達成には驚きました。

④東京秋工会ゴルフ会は、10回ごとに記念コンペとして、20回目に台湾、30回目には濟州島で実施しました。なお40回目は震災チャリティーコンペとし、参加費は秋田魁新報を通して秋田県庁から被災者に寄付しました。50回目は常磐ハワイアンセンターにおいて開催しました。60回記念大会は海外で企画を検討しております。同窓の絆を大事に皆さんと楽しみましょう。

⑤誠に残念なことに、昨年9月に鎌田満雄氏(S27C)が突然お亡くなりになりました。副会長・顧問・ゴルフ会会長として、物心両面にわたり多大なお世話になりました。ゴルフが大好きで腕もよく、本会において3回優勝しています。平成16年8月14日に蓼科高原CCにおいて、ホールインワンを達成して記念タオルをいただきました。ドライバーショットを打ち「毎回必ずどこへ飛んだ」と聞く癖があり、「真つすぐ飛んでいる」と報告すると、ニッコリとどうだと言わんばかりの童顔と茶目っ気なところがありました。(故)地主勝己さんは当てつけられ、ゴルフがしばしば乱れ、どうしたらそんなに下手になるかと「からかわれ」、冗談言ひあいながらプレーを楽しんでいました。鎌田さんはエイジシュート達成が目標でしたので心残りかな?地主さんは、百獣の王(いつも110台のスコア)を貫き通し、優勝できなくさぞかし残念なことでしょう。天国で皆さんとゴルフ談義を楽しんでいることでしょう。心からご冥福をお祈り申し上げます。なお何時もコンペ手伝いをしてもらっている三浦芳暉・藤田昌博・宇佐美荘三氏に感謝しております。

6. 詩吟同好会の思い出

①秋工創立100周年記念祝賀会において、詩吟を披露しようと相馬洋悦氏(S40A)が母校の校訓の質実剛健を基調とした、祝秋工創立百周年讃質実剛健校訓の吟詠を創作しました。都市整備機構の保養所(春が今井浜・夏に山中湖・秋が今井浜)において、合宿練習し、尺八・詩吟同好会10名が合吟披露しました。総監督の(故)笹淵茂氏から良くできた褒めてもらいました。

②秋工創立110周年記念祝賀会において、秋田県民歌を詩吟大和豊山流の二代家元 川村溪泉先生より譜をつけていただき、尺八・詩吟同好会7名が合吟披露し、佐竹知事さんに喜んでいただきました。現在同好会員4名と寂しく、相馬さんの回復を願っております。なお会員全員が段持ちです。

7. 結び

私は長年にわたり上記の通り東京秋工会及び関連活動などに参画し、故郷思いの方々と知り合い、ふるさと訪問(北・中央・南)をして、各地区の観光、自然・郷土芸能などにふれ合い、その都度ふるさと秋田の良さを発見し、郷土愛を深めて温故知新の心境です。NPO法人・秋田ふるさと応援団を結成し高校生の文化・スポーツの支援活動もしております。東京秋工会の現状は会員の高齢化・上京生徒の減少などで厳しい状況下にあります。地域活性化委員会と協力し合い会員一致協力して質実剛健の精神と母校の誇りを胸に乗り越えて秋工会の更なる発展を念じております。

8. 追伸

私は健康維持としての①ゴルフと脳の前頭葉の活性化させるコミュニケーションで、80歳目途にエイジシュータの達成と、②詩吟はハンディートレーナーを使い熟(こな)して、詩の意味を理解し吟詠する。③写真はものの見方が変わり、各所に出向き撮影を楽しむ。など生涯元気に楽しみたい。

東京秋工会 結成80周年にあたり

遠藤 久志 (昭和43年電気科卒)



令和2年3月27日の役員会において幹事長に選任されました。結成80周年の佳節に選任されたことは誠に光栄であり、責任の重さに身の引き締まる思いがいたします。結成から今までの80年間にはいろいろな事があったと思います。中国のことわざ「井戸を掘った人を忘れない」があります。私は井戸を掘った人はもちろんですが、井戸が涸れかけた時に修繕し、機能を維持した人も絶対忘れてはならないと思います。このことは東京秋工会にも全く同じことが言えると思います。今まで尽力してこられた会員及び役員の方々の皆様へ深く感謝いたします。そして後輩として伝統ある東京秋工会を変化する時代に柔軟に対応しながら発展させていく思いを新たにしました。

さて、私は20代の時、東京・蒲田で開催された総会・懇親会に初めて参加しました。その後は住所も変わり、参加していませんでした。平成25年11月、63歳の時、同郷の山崎金作さんに誘われ約40年ぶりに総会に参加しました。その時、同じテーブルの佐々木進さん、嵯峨良平さんに幹事を薦められ引き受けることにしました。以来6年間活動に携わってきました。活動歴も短く、心もとない思いがしますが、会員及び役員の方々の皆様のご協力を得ながら職責を果たしてまいりますので何卒よろしくお祈りいたします。

Tokyo Akiko-kai
80th Anniversary

